



The 14th  
Regular Concert

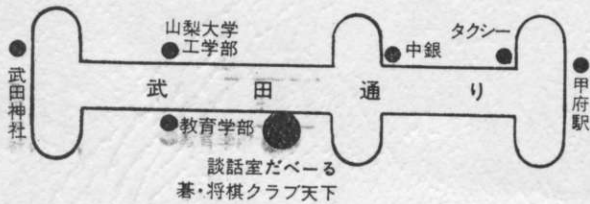
\*祝\* 第14回定期演奏会



軽食・ドリンク・ウイスキー  
花束のシンボルマーク

談話室 **だべーる**

TEL 0552-51-5321



碁・将棋クラブ  
TEL 0552-51-5321



山梨大学マンドリンクラブ

創立15周年

# 第14回定期演奏会

1976. 12. 3 (金)

県民会館大ホール

後援 / 山梨大学工学部学友会

協賛 / 山梨日日新聞社・山梨放送

## ごあいさつ

部長 安倍 昭 敬

遙かに眺む富士の山もすっかり雪化粧をし、肌寒さを感じる季節となりました。

私達マンドリンクラブも今年でクラブ創立15周年を迎え、第14回定期演奏会を今日ここに無事開催できました事は皆様方の暖かいご支援のおかげと厚く感謝しております。

この1年間、私達は過去14年間につちかわれた伝統を礎にクラブのあるべき姿を模索してきました。音楽と人間、私達がクラブ活動において接するふたつのは計り知れない程大きく深く複雑であるが故に、それらを少しでも極めようとする時に立ち足はだかる問題も種々様々で、その壁を乗り越えようとする努力のうちに時は過ぎてしまいました。しかし、そうして共に悩み喜び情熱燃やして過ごしたこの1年間の成果は、今このステージでひとつの「和」となって表われるものと信じております。どうぞ最後までごゆっくりご鑑賞のうえ、ご意見ご感想をお聞かせください。

なお最後になりましたが、常に日頃から献身的なご指導及びご協力をしてくださっている比留間先生、飯島先生をはじめ、諸先生方、先輩の方々、大学当局、校友会並びに関係各位に心からお礼申し上げます。

## 第14回定期演奏会に寄せて

比留間マンドリン研究所 比留間 きぬ子

第14回定期演奏会開催の今年は承るところによると、マンドリンクラブ創立15年になるとのこと御同慶の至りである。この年月の間には、大学御関係の先生方をはじめ、皆様方の学生方への限らない愛情と理解、そしてその御厚志に応えるマンドリンクラブ諸君の心意気、そして蔭に日向に惜しみなき指導の労を取られた飯島国男氏の年々オ々の御力添えの賜物に他ならぬと心から敬意を表するものである。

私はクラブの皆様と接するのは年1回夏の合宿の時のみ……。指導期間としては余りに短い、熱心に素直に私の言葉に耳を傾けられる皆さんの好ましい態度を見るにつけ、許される事ならせめて月1回でも御教えしたいと例年後髪引かるる思いでお別れしてくるが、遠く離れている事はかくもわびしいものかと痛感するのが常である。今年はプログラムの一つ鈴木静一氏作曲の「朱雀門」の語りをお引受けしたが、これには二つの理由がある。今夏神戸商科大学マンドリンクラブと合同練習、合同演奏会の企画をもって米倉、黒川両君が遥々来神された。私も大いに賛成し懇談したが、7月に神戸マンドリン連盟の演奏会が既に決定しており、残念ながら実現に至らなかった。両君の心情を察し、骨折りに対し私はせめて私の出来る事で償って上げたかった。こんな気持が此度の朱雀門出演につながったのである。今一つの理由は4年前、飯島氏のタクトでマンドリンソロをきいて頂いたよき思い出は、今も大切にしているが、ナレーションはあくまで私の本芸ではなく、例え師弟のえにしにある飯島氏といえども現在立派に社会の第一ポジションにある氏に、私の余技をもってタクトを願う事には思はゆいためらいがあったことである。然し過日氏にこの事をお話した際には氏からたしなめられ、氏の昔に変わぬ仁義深く、また思いやりの厚い言葉に胸打たれ、その真心に改めて敬意と感謝を禁じ得なかった。飯島氏にはぜひ今一度よき折に私の自信のもてるステージにお相手を願いたいと念願して止まない次第である氏の真心に対しても、はからずもタクトを取られる黒川君とクラブの皆様と意気の合った一ステージをつとめたいと思っている。

御来聴の皆様方にもお久しぶりにステージ上からお目にかかれることを楽しみに、この演奏会の御盛会と御成功を祈ってペンをおく。

昭和51年11月

## 豊かな響きに期待する

マンドリンクラブ顧問

山梨大学工学部教授 牧 野 洋

私の研究室の向いの建物にTO-1番教室がある。ここはマンドリンクラブがよく練習に使用する所である。土曜日の午後など、研究室で仕事をしていると、ときどきマンドリンの音色が風に乗って流れてくる。このTO-1番というのは階段教室であって、なかなか音がよく響くのである。ここで合奏すると実力以上にうまく聞こえる。

ところで県民会館の大ホールというのは演奏する人には気の毒なくらい音響効果が悪いのである。音がみんな舞台の上に抜けてしまっただけで前に出ない。そうすると各楽器の音がばらばらになってしまっただけで、アラが目立つようになる。しかし、我がマンドリンクラブは豊富な練習量にものを言わせて、この次点を克服してくれることであろう。TO-1番並みの豊かな響きを聞かせてくれることを期待している。



# Program



## I 部

指揮 黒川正千代

悲愴序曲 〳受難のミサ〳

鈴木静一

マンドリンオーケストラの為の 〳群炎 I 〳

熊谷賢一

音楽物語 〳朱雀門〳

ナレーション 比留間きぬ子

鈴木静一

## II 部

指揮 小嶋英次

雨とコスモス

武井守成

ルーテンコンチェルト

A. Vivaldi

## III 部

指揮 飯島国男

歌劇 <ザンパ> 序曲

F. Herold

アラビア風間奏曲 〳オアシスにて〳

E. Marti

ロマンチック コンチェルト

K. Wölki



## 悲愴序曲 『受難のミサ』

鈴木 静 一 作 曲

私は大正末期に黎明と祝典の2序曲を書いているが、その頃から形式音楽を好まず、今日もひたすら標題楽を続けている。ソナタ形式による「悲愴序曲」を書く気にさせたのは、或る日——かけ放しのF・Mから流れ出していた『日本26聖の殉教』のミサ曲であった。聞くともなく聞くうちに、私は単声で合唱されるグレゴリオシャントに、ふと楽想を揺すられた。同時に、その26聖人の磔（はりつけ）の絵画をどこかで見たことを思い出した。フィレンツェカトリノか、はっきりしないが、博物館か画廊であった。その時、磔柱にかけられた多くの人殉教者の顔に日本人の面影は認めたが、それが日本26聖であることはかなり後から知った。そんなことでこの素材に手をつけたが、序曲などの意義なく書き始めた——それがいつとなく型どおりの序曲になって行くのに気付いたが、不思議に抵抗は感じなかった。

我が国におけるキリシタンの伝道は最初は順調であったが、豊臣秀吉が布教を禁じて以来、キリスト教圧迫の歴史が始まり、世が徳川に移ると、幕府のキリシタン弾圧は峻烈をきわめた。島原、天草の乱はかくして起り、今日もカトリックのミサに残る「日本26聖の受難」はその時代の悲惨の殉教の一例である。

曲はマンドチェロの奏すこの序曲の核心になる「日本26聖」のアレルヤのライトモチーフ（譜1）で始まり、続いて鞭打つような激（譜2）のモチーフが出る。これはキリシタンに対する弾圧である。この2つは反復され、めまぐるしく展開し、第一主題（譜3）を引き出す。これはさらにその上に第二主題（譜4）をのせ、発展、展開する。この激動が鎮まると、冒頭に示されたアレルヤが出る。これは型のごとく第一、第二マンドリンが弾声を斉奏するが、中段からはマンドラ、チェロを加え、しだいに増刷され、この部分のクライマックスを築く、そして主部が復帰し、激しい結尾をむかえ、悲劇的な終局を告げる。

（鈴木氏の文章より）



## マンドリンオーケストラの為の『群炎Ⅰ』

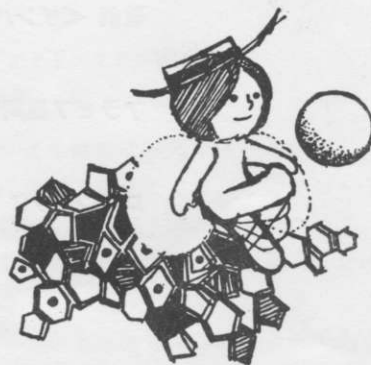
熊 谷 賢 一 作 曲

菊里高校音楽科、愛知学芸大学卒、間宮芳生、助川敏弥に師事、昭和35年からNHKの委嘱により作曲、指揮活動をしながらか川島博、中川弘一郎等と三音会を結成し、「管弦楽のための三章」や歌曲等を発表する。昭和38年に「作曲個展」を開き、名古屋で初めての創作オペラ「ゆきのおんな」を初演発表する。昭和43年、新しい日本の歌を創る会「土の会」にて大衆的な歌曲を発表する。各種音楽団体の依頼作曲をして合唱曲、歌曲、室内楽の作品が数多いが、NHKを中心に民族などの音楽番組、テレビ、ラジオのドラマ音楽や映画音楽等の作品も数多く、舞踊音楽、舞台音楽等も含めて現在多面的に作曲、編曲、指揮で活躍している。

『群炎』とは氏の造語である。読んで字の如しであるが、この言葉は作曲した音楽の内容や形式には直接関係はなく、ましてホノオの如しの情景描写音楽でないことも勿論である。

『群炎』とは、作曲者や演奏者はもとより聴衆をも含めた全ての人間の「音楽的行為」の中で、現在と未来に生きぬこうとする強い生命力のエネルギーがあたかも、炎の如く燃え上がる表われでありたい、そして、それらの炎が集まり、巨大炎となって不毛の原理を焼きつくし、新しい創造に立ち向かう力になりたいという氏の創造に於ける理想として考える理念の抽象化された言葉である。

この曲は『ラプソディーⅠ・Ⅱ・Ⅲ』と同様に『ボッカリーゼⅠ・Ⅱ・Ⅲ』のように一貫した演奏もさることながら、単独でも演奏されている。



朱雀門 —長谷雄卿草紙より—

鈴木 静一 作曲

この曲は「人魚」、「氷姫」などと同様、ナレーションを含む音楽物語である。平安の町と呼ばれた時代、朱雀大路は皇都のメインストリートであり、それは皇居の大手に立つ朱雀門に始まり、南下して京果てる所に聳える羅生門までをいう舞台となる。朱雀門は名のみで、所在位置も明らかでないが、京で最大の華麗を誇る楼門であったに違いない。この物語はその朱雀門にまつわる怪奇な鬼の話であるが、絵巻には文字は使われず、すべて単純な絵画だけで台本その他はすべて想像である。

曲は九つの部分よりなり、それぞれ副題が付けられているが、全般に京に残る土俗音楽や雅楽のニュアンスが取り入れられている。とりわけ、管楽器の雅楽的な響き1st マンドリン、フルート等が奏でる優雅な旋律は京都の詩情を感じさせ、ナレーションのかもしれない古典的な雰囲気と不思議な程マッチしている。

<物語>

平安京 山は紫に水清く平安の京は美しき都として栄えていた。

花の都も西大路を境に太秦へかけては、庶民の集落が続き、その街は、物うりの呼び声に日暮れ前のひと時混雑する。その中を若き公卿長谷雄は、二人の伴人をつれておうらかに歩いていた。

怪しい男 夕映の空に黒くろとはえる朱雀門をくぐろうとした時、長谷雄は見上げるばかりの大男に呼びとめられた。「宮仕えの公卿と見受けるが、吾と双六の手合せをされぬか？」長谷雄は、双六にかけては、宮中で指折りの名手であった。

「賭双六を所望する。」長谷雄は不敵な男の挑戦をうけてたった。

晩 鐘 心配する伴人を帰し、長谷雄は怪しい男に導かれ朱雀門楼上に上った。陽は西山に沈み街には点々灯影が見えた。寺院の夕べの鐘が静かに響き渡っていた。

渚 長谷雄は、薄闇の中から紙燭を捧げ静かに現われた渚と呼ばれた、女の美しさに目を見張った。「いかがじゃ？吾が賭けると申したのは、今見られた女であるが……」<欲しいなんとしても！>

双六と鬼 二人は双六盤を挟み向い合った。女の面影は長谷雄の理性をかき乱す。打っ手も打っ手もしどろ…、のしかかる男の功勢をかわし、ようやく立ち直る。……

「どうじゃ これまでと思うが!？」その時、長谷雄は目前にはっきり鬼神の姿を認めのけ反った!

約束どおり男は、渚と呼ぶ美女を長谷雄に与えた。ただ百日の間は特別な関係をもたないことを条件に。

夏の夜 もどかしい幾日幾夜が流れる…どこからか庶民のすさび太鼓や笛の音が聞こえて来る。こうした夜の渚はひととき美しく長谷雄の胸を騒がせる。

雷雨と渚の消滅 真っ暗な月の無い夜空に、さっきから遠い稲妻がきらめいていたが、不意に強い稲妻が「アッ」渚は長谷雄の膝にノ…、自制ぎりぎりにあえぐ長谷雄…。

とうとう長谷雄は怪しい男の約束を破る。八十日目だった。

あと、たった二十日美しい…、渚の五体が旭の前の薄ら氷よりたよりなく爪先から溶けてゆく。ひと筋の水となって…。

終局のむごさに立ちすくむ長谷雄の耳に、聞きおぼえの高笑いが虚空から落ちてきた。「お前は約束を破った。渚は沢山の死人の中から佳いところだけを撰りすぐって作り上げた仮身の女なのだ。あと二十日待てばあれは現身の人間として永遠の生命を得られたのに、自業自漬よ!」

雷雨はいつしかやみ、たえがたい寂寥がいちどに襲う。長谷雄は雨あがりの暗い街にさまよい出た。どこをどう歩いたかも知らず、暗黒の中に大いなる影を見た。朱雀門であった。

「双六(すごろく)について」

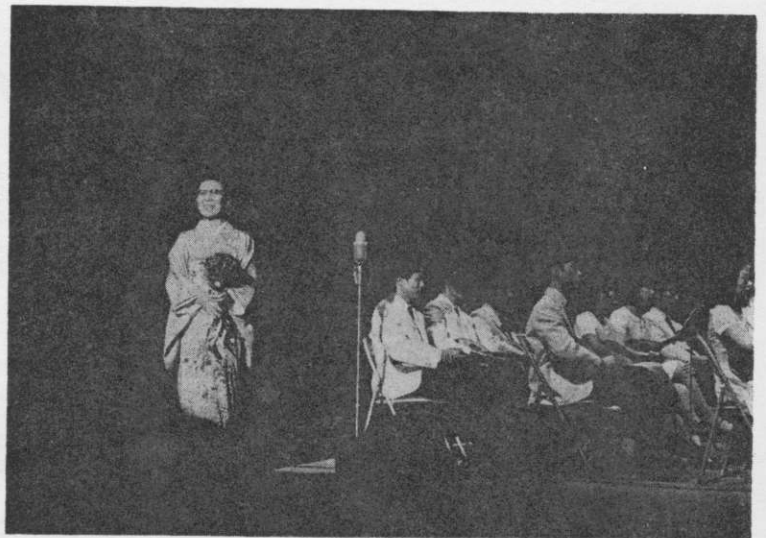
二人で行なう遊びで黒白の石それぞれ15コを盤の上の自陣内に並べ、二つのサイを竹筒の中に入れて交互にふりだすサイの目の数によって石をすすめ、早く相手の陣地に侵入したものを勝ちとするが規則は複雑である。大陸から日本につたわり奈良時代以前から行なわれていたもので、大人のかげごととして流行した。

紹介

比留間きぬ子

我が国マンドリン界の最高権威者で、東京に「比留間マンドリン音楽学院」を開いておられ、兵庫県にも教室をもたれて関西の人々への指導にもつくされております。又一方、ラジオ、テレビ、映画音楽など非常に多方面に御活躍中です。

先生には第10回記念演奏会では、マンドリン・ソロを演奏していただき、今回クラブ創立15周年を迎え、遠く神戸から再び当クラブの為にお越しいただきました。先生は当クラブ常任指揮者、飯島国男氏の師にあたり、当クラブを御指導下さっております。



(第10回定期演奏会での比留間先生)

## 雨とコスモス

武井守成作曲

武井守成氏は当時、宮内省式部職にあり、元男爵である。ギター、マンドリンに通じ大正年間、マンドリン合奏団即ちシンホニカ・タケキ（現在は杉田村雄氏が主宰）をもって大いにマンドリンの普及発展に生涯をもって貢献された。彼の作品は日本的な繊細な情趣豊かなものも多く、また「朝鮮の印象」とか雅楽よりとった「越天楽」など異色あるものもある。どの作品にも非常に細かい神経が行届いており、編成は大きい、各自の無理のない音色、音量を要求している。従って彼の作品には美しいピアノシモが要求されるのである。

「庭の柿の際に一本のコスモスが咲き残っている。しめやかにとはいえず、音を立て降る雨に花びら一つ動かさず、空を仰いで、清らかに立っている。それは不思議に古典的で美しい姿であった。」（作者の言葉より）

コスモスの花を、こよなく哀れに美しく受けとめた彼の性格描写とも云える。小品ながら心にしみ入る様な作品である。

マンドリンの巨匠ラファエル・カラーチェは彼の自作のマンドリンを大正天皇に献じ、武井氏にも献じている。

## ルーテンコンチェルト

A・ヴィヴァルディ 作曲  
G・ベーレント 編曲

この曲は西独に誕生し、そのテクニックの活達さと内容の豊かさ、そして芸域の巾広さによって若くより世界に名を馳せ日本にもなじみ深いギタリストジークフリード・ベーレントのアレンジになっている。彼はマンドリン音楽を愛し、彼の主旨をもってバロックのものにはトレモロを用いず、終始□>既ちピックの打法（速度の速い音符は□>打法と抜う法）にまとめている。彼はザール州ザールマンドリンオーケストラ（今年来日し好評をばくした越智敬夫妻をコンサートマスターとす）を指揮しレコードも数多く出している。ツップホオーケストラとは室内楽と云うことであり、西独に於ての編成は1st 2nd Mla Guit とベースの代りにマンドバスという楽器（ベースと同音域であるが、マンドローネをたて形にしたもので、立って奏し指のピッツのみを用いる）を加えている。

第1楽章は、コンツェルトらしい重厚さがあり、3連音と16分音符2つのリズムに注意がかけられる。

第2楽章は、ゆるやかなメロディをトレモロでなく左指の押す力の目にみえぬビブラートによって、レガートを現す美しい楽章である。

第3楽章は軽快な音の流れに1つも落すことの出来ぬ3連音の連続した音をもった華麗にしてさわやかな楽章で終る。

（この様な演奏は山梨に於ける最初の試みと思う）

（比留間）

## 紹介

### 飯島 国男

マンドリンを比留間きぬ子、ヴァイオリン及びヴィオラを福井直弘、チェロを中島方、指揮を沖不可止に師事。

昭和23年 飯島マンドリン四重奏団結成

昭和26年 飯島弦楽四重奏団結成

昭和30年2月 JOKG管弦楽団設立、常任指揮者となる

4月 NHKオーディションに合格

10月 松竹映画「新婚白書」の音楽担当

12月 オペラ「手古奈」上演、編曲並に指揮

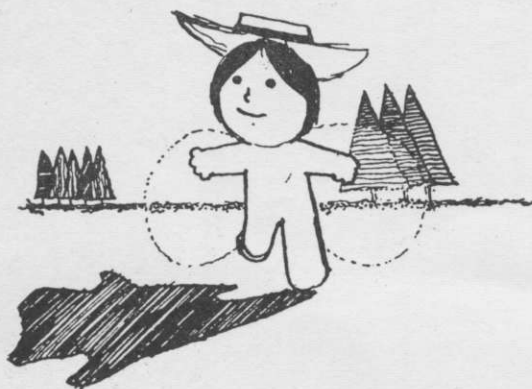
昭和31年 労音の招きに全国を演奏旅行

昭和32年 山梨県全域の音楽団体を統合、横の連結機関として山梨音楽文化連盟が結成され、理事長に就任

オペラ「鷹の泉」上演、編曲並に指揮。

比留間マンドリンアンサンブルの客員として、ラジオ、テレビ、レコード等に活躍していたが、現在は山梨県下のプレクトラム音楽普及並に指揮に尽力している。

（日本マンドリン連盟関東支部委員 日本弦楽指導者協会会員）





## 歌劇《ザンパ》序曲

F. エロール 作曲

この歌劇は、海賊ザンパをあつかったフランスのグランド・オペラで、エロールの死ぬ3年前に書きあげられた。この作品によってエロールは、一流の歌劇作曲家として名声を高め、当時、パリでボアエルデューと人気を二分するほどだったという。

この序曲は、接続曲ふうに書かれており、まず、アレグロ・ヴィヴァーチェ・エド・インペトッオーソの色彩的ではなやかな部分からはじまる。最初に奏されるスタカートの旋律はたいへん親しみやすい。曲はしだいに盛りあがりをみせるが、急変してアンダンテとなり、素朴で抒情的な旋律があらわれる。やがてテンポが速まり、アレグロ・ヴィヴァーチェ・アッサイ・コン・グランフォルツァの部分にはいと軽快な旋律が奏され、はなやかに展開する。いちじ速度がピウ・レントとなるが、しだいにテンポを速め、力強さを増したのち、大きなクライマックスを築きあげはなやかに曲を閉じる。

## アラビア風間奏曲《オアシスにて》

E. マルティ 作曲

本曲は1921年イタリアのプレクトラム音楽誌イル・プレットロが主催したマンドリン合奏曲の作曲コンクールにおいて、銀牌賞を与えられた名誉ある楽曲である。

作者マルティについては、この名作一曲によってマンドリン界に不朽の名を留めている事実のほか一切不詳不明である。

炎熱下のアラビア砂漠地帯を往き交う駱駝隊商の幾群かが、今宵の露営にと目指して緑地オアシスを求めて、次々に到着して来る。晴れ渡った星空の下、夕餼の焚火の周辺には酒を汲み交す者、談笑し合う旅仲間、団楽から独り離れて遥かに故郷を偲ぶ者、賑やかな歌声に踊り出す者もいる。旅の疲れを思い思いに憩う数刻、夜も更けてオアシスも静かに夢路を辿る。未明の暁に隊商は、再びアラビア砂漠の旅に出発する、今宵のオアシス求めて……。

## ロマンチックコンチェルト

K. ヴェルキ 作曲

コンラド・ヴェルキはドイツのプレクトラム界の先駆者であり、マンドリン・オーケストラとしての革新的な新様式を確立した。

1924年20才の時、処女作「序曲イ長調」を発表して以来「五つの序曲」「交響曲」「帰郷」「大いなる時」、など数々の名曲を書いた現存の作曲家である。彼はプレクトラム音楽を機能的に構成し、種々の管楽器とのコンビネーションはダイナミックで、作風は非常にマンドリン風であると共に管弦楽風の効果をもち、イタリア人にみられないドイツ人独特の重厚味を感じさせる。

本曲は「マンドリン・オーケストラのためのロマン的演奏会用作品」と題されているOP-14の雄大な曲で、その構成の素晴らしさと、ロマンチックな簡潔なメロディーは聴く者を魅了せずにはいられない。それは傑作を物語っていると同時に、ドイツ人の理想に最も適合していると言えるであろう。

# STAGE MEMBER

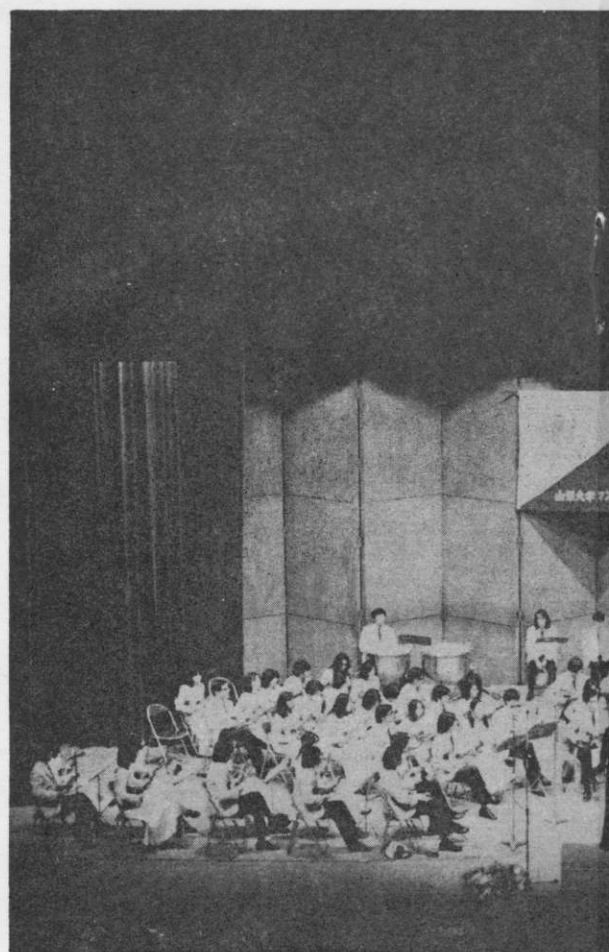
常任指揮者 飯島 国男  
正指揮者 黒川 正千代  
副指揮者 小嶋 英次  
コンサート・マスター 坂本 慶太

## 1st Mandolin

◦坂本 慶太(教3) 山梨・峡北  
小西 多恵子(教3) 山梨・都留  
竹内 章(工4) 静岡・静岡東  
神崎 兼次(工4) 山口・萩  
古屋 志津子(教4) 山梨・日川  
赤尾 幸子(教2) 福井・美方  
坂本 祐二(教2) 山梨・峡北  
中川 京子(教2) 山梨・石和

## 2nd Mandolin

◦早川 香子(工3) 山梨・日川  
名取 光江(教3) 山梨・峡北  
深沢 やよみ(教3) 山梨・巨摩  
田牧 圭二(大学院) 神奈川・追浜  
雨宮 登志子(教4) 山梨・甲府一  
今泉 美美子(教4) 山梨・都留  
小林 和美(教4) 山梨・甲府二  
梶原 由美子(教2) 山梨・石和  
藤卷 妙子(教2) 山梨・峡北  
藤森 睦美(教2) 山梨・峡北  
大久保 友子(教1) 山梨・甲府南  
荻野 洋子(教1) 山梨・甲府南  
川島 功子(教1) 山梨・甲府南  
神沢 あさみ(工1) 山梨・甲府南  
鈴木 哲司(工1) 岐阜・恵那  
須藤 政利(工1) 岐阜・瑞浪

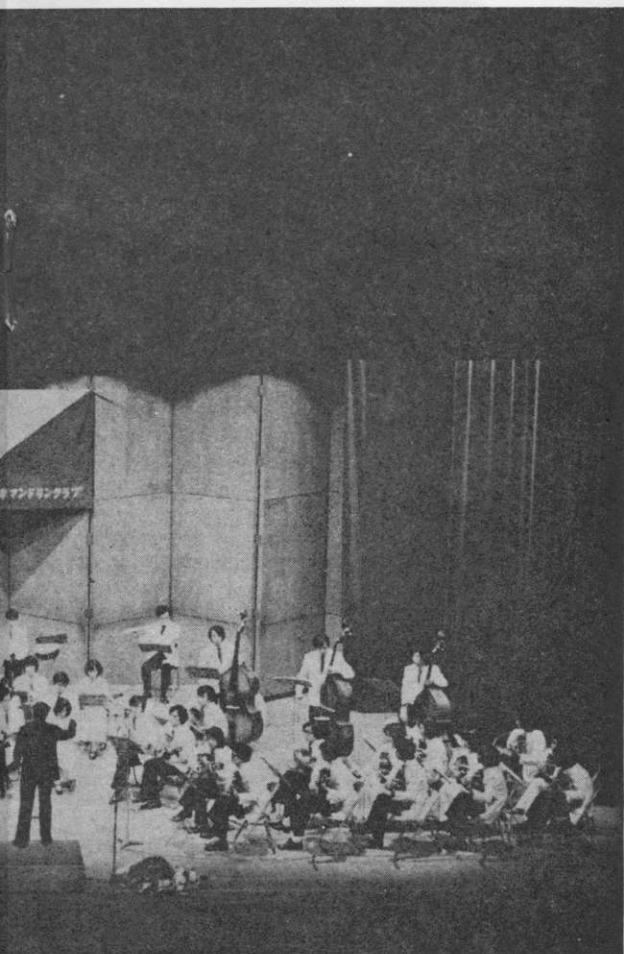


## Mandola

◦伊東 直子(教3) 山梨・甲府南  
黒川 正千代(工3) 香川・高松工芸  
坂田 久行(工4) 熊本・玉名  
朝比奈 恵美(教4) 山梨・甲府南  
坂牧 久哉(工4) 静岡・沼津東  
相原 ひろ美(教2) 山梨・石和  
田頭 明(工2) 広島・因島

## Mando Cello

◦安倍 昭敬(工3) 岐阜・恵那  
羽中田 豊子(教3) 山梨・甲府南  
古屋 敦子(教2) 山梨・英和  
新崎 彦則(工卒) 沖縄・小禄



部長 安倍 昭敬  
 副部長 米倉 淳博 羽中田 豊子  
 会計 伊東 直子  
 庶務 橋口 優 小西 多恵子  
 名取 光江

#### Contradass

◦橋口 優(工3) 東京・桐蔭  
 小林 誠一郎(大学院) 東京・東邦  
 波多野 至(工4) 島根・大田  
 榊原 光(工1) 静岡・清水南

#### Flute

小嶋 英次(工2) 東京・葛飾野  
 米長 敬生(教2) 山梨・甲府南  
 伊藤 一美(教1) 山梨・韮崎

#### Guitar

◦矢津 洋(工3) 石川・泉丘  
 有野 明美(教3) 山梨・巨摩  
 米倉 淳博(工3) 兵庫・夢野台  
 河西 邦人(工4) 山梨・甲府一  
 斉藤 充弘(工4) 神奈川・追浜  
 市川 潤子(教2) 山梨・日川  
 今福 久幸(工2) 宮城・仙台三  
 梶 芳久(工2) 千葉・長生  
 関口 毅(工2) 群馬・前橋  
 一瀬 千恵(工1) 山梨・甲府南  
 小松 泰三(工1) 岡山・勝山

#### Piano

伊東 直子(教3)  
 鈴木 哲司(工1)

#### Clarinet

\* 卓 武夫(工4)

#### Faggot

\* 神原 修(工3)

#### Timpani

\* 杉浦 春光(工3)

\* 賛助出演 山梨大学管弦楽団

## パート紹介



### 2nd Mandolin

2nd. それは風の音に趣を加える木の葉のささやき。時には厳かに、そして時には、いや多くの場合は、嵐の中でもがく枯葉のごとく……。女性が極めて多いのではありますが、この女性、男性に優るとも劣らぬ勇ましさをもつ為、パート内はいつも活気的、but 練習時は……？ この様な女性達も落葉の散りゆくを見、自分のマンドリンに聞き惚れながら、何にか思いを馳せる今日この頃なのであります。ややもすれば忘れられがちな2ndパート、その分騒がしさで一際目立つ2nd、

私達は“風の音に趣を加える木の葉のささやき”と信じ、練習に励んでおります。



### 1st Mandolin

いつも優しく繊細に、そして時には重厚に、音の精なるトレモロに、心かよわすマンドリン。  
眠れぬ夜の寂しさに、汝がいとしきマンドリン。  
今宵あなたと二人して、夢をはぐくむ夜空にて、奏でる音は幾多でも、寄する想いはただひとつ。

### Flute



キラキラ輝く、銀色の笛を自由にあやつり、時には荒くあなたをつき離し、時にはやさしくあなたの心に忍び込む……。そんな笛吹きになりたいと練習しているのですが……。

### Mandola



マンドリンから流れ出るトレモロが小川のせせらぎならば、マンドラのそれは大河のささやき。四人の男性と三人の乙女の奏でる調べは、時に鋭く、時に優しく仲良くからみあってどこまでも流れてゆきます。

溪流のf  
たちまち滝のようなff  
それからmpで平野をぬって  
やがて湖のpp……  
耳を澄ませてください  
ほら……、きこえてきませんか？

後ろ姿だけの孤独な男。  
声も出さず、1本のタクトだけで、  
り出していき、音楽だけではなく広く  
親しむロマンチスト。  
というようなことには、全く関係の  
・副二人の指揮者くん。  
普段の姿をスーツに隠し、タクトを  
る姿はどうでしょう。

### Conductor

秋……

二人で語り合う……

洋菓子 **アルプス** 喫茶

レストラン

**グランド**

県民会館前 岡島クレジット6階

TEL 32-3319

本日の演奏をじっくりとお聴き下さい。

このパートのすべてがわかっていただけ  
るようになっております。

ホントカナリー?

セイイチロウ、イタル  
マサル、ヒカル

### Contrabass



### Mandol Cello

ギターに隣りなにかしら面白い楽器、それが私  
たちが手にしているマンド・チェロ。パート員は男  
性一名、女性二名と少数ではありますが、チェロと  
いう楽器はすばらしく力強い音量が出せるのです。  
あの太い弦を弾きこなすのは男性はともかく女性  
には肉体的疲労がかなりあります。しかし、チェロ  
の時には岩を砕く波のような父、時には雪  
を溶かす大地のような母となる低音の魅力  
に、私たちは疲れさえも忘れてしまう程  
です。緑の下を力持ちチェロの力強く  
あるはやさしく響き渡る低音をそ  
っと耳を傾け、どうぞごゆっくり  
お聞き下さい。



### Guitar

1st マンドリンが、高温でメロディをかなでるなら、ギター  
はそれをひきたたせる陰武者でしょうか。

マンドリンとは違った、やさしい音をもつギター、我々パー  
ト員は、このギターの音色を愛してやまないのです。

さてさてパート員の面々はと申しますれば、最近人生がバラ  
色になりつつあるという風変りなリーダーを頭にのんきな三年  
生、はりきりやの二年生、着実派の一年生と学年色豊かです。  
女性が少なく寂しいのですが、頼もしい男性陣の力量でカバ  
ーされています。

“もっと人数が多ければなあ”というのがみなのお口ぐせでして…。  
その分一人一人が頑張っていますので、その音色をお聞き下さ  
い。

音を創  
芸術に  
ない正  
振る後  
ctor



フレアー パンツ から  
ジーンズ まで

# ドンキ

県民会館東隣リデス

Music for the people

ミュージック ショップ

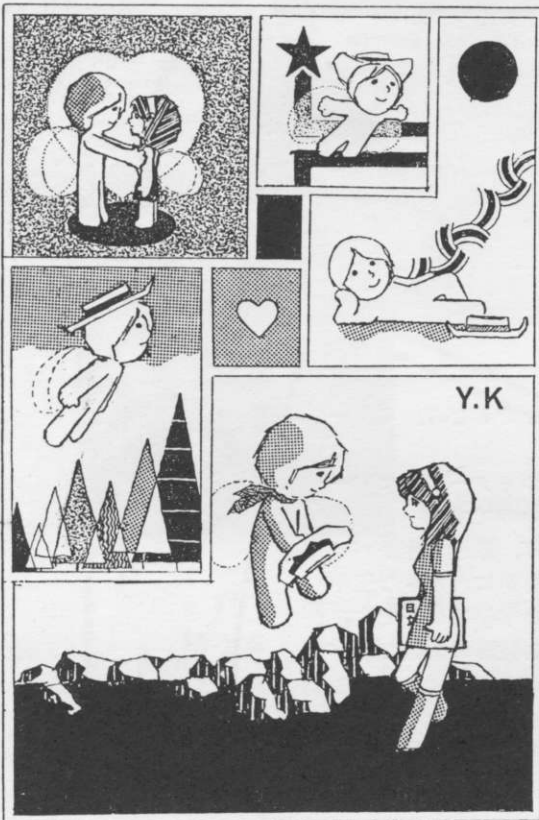
# サンリン

甲府市丸の内 2-15-14

TEL 0552-24-6226

この一年

- |           |                  |            |
|-----------|------------------|------------|
| 51. 1. 15 | 成人式アトラクション出演     | (境川村公民館)   |
| 2. 7      | 卒業生記念コンサート       | (本学)       |
| 3. 13     | 甲府南中学校卒業生を送る会出演  | (湯田高校講堂)   |
| 4. 21     | 新入生歓迎オリエンテーション参加 | (本学)       |
| 4. 28     | スプリングコンサート       | (県民会館小ホール) |
| 7. 11     | 山梨県マンドリン連盟参加     | (本学)       |
| 9. 4      | 増穂南小学校にて演奏       |            |
| 11. 14    | 山梨県芸術祭音楽祭出演      | (県民会館大ホール) |



∞お知らせ∞

山梨県立女子短大マンドリンクラブ

第11回定期演奏会 51. 12. 17 (金)

山梨英和短大マンドリンクラブ

第11回定期演奏会 52. 1. 21 (金)

於 県民会館大ホール

中国料理

孔 妃 園

武田通り(梨大前)

TEL 24-4636



甲府市朝日2丁目19-8

魚 春

電話 (52) 5931番

## 編集後記

部屋中に、原稿や苦労して集めた資料が散乱している。パンフの仕事を始めたのは夏休み前であったはずなのに11月に入った今でも何故こんなに忙しいのだろうか。大好きなテレビともしばらく御無沙汰していて、新聞もろくに読んでいない。

でも出来上がってほんとうに良かった。

私達はこのパンフレットに、少しは自信を持っていますが、いかがでしょうか。

来年もきっといい年でありますように。

最後になりましたが、パンフ作製にあたり御協力下さった諸先生方、広告店主の皆様、印刷会社の皆様、表紙とカットを心良く引き受けてくれた電子工学科2年の金田君に心から感謝いたします。

(Y)



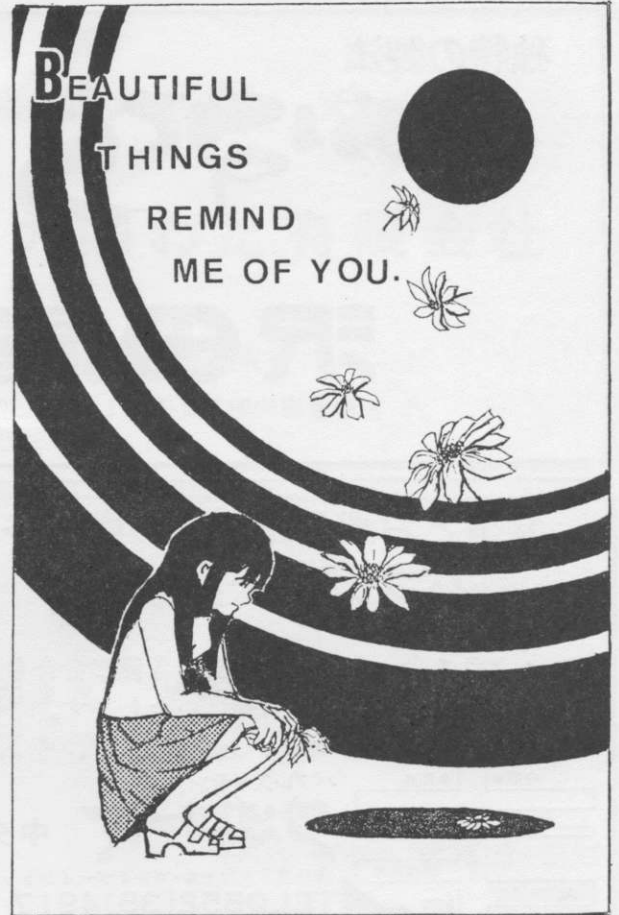
編集・製作.....パレフレット係

米倉 淳博  
橋口 優  
小西 多恵子  
羽中田 豊子

表紙・ポスターデザイン

及びカット.....金田 洋二

印刷.....温故堂印刷KK



突然ポスターを依頼され、期限が一週間とのこと、悪戦苦闘やっとの思いで間に合わせました。

今回は、女の子でチャレンジ最後まで可愛らしく迫ってみました。



*youji*

名泉 水 晶 閣  
名庭

甲府市中央四丁目1-17

TEL (33) 3185 (代)  
サイワイ

高級文具・事務用品

関 文 具 店

甲府市駅前通り

電話 35-5941 番

独特の製法

# かすたら

## 沢田屋

甲府市向町375 TEL(35)5545(代)

若い女性に人気のある



スパゲッティ **ボン**

🍷 **あ好み焼ぼん**



Just bake **Bon**

甲府市丸の内1丁目タカラ1番館地階  
TEL 37-1744, 35-3833

食事とお酒と語らいの場……

### パブコーナー新設

\* クラス会・コンパ・無尽会等各種ご会合も  
ご予算に応じてお引受けいたします。

中銀 ● 岡島 ●

春日通り ●

銀座通り ●

西銀座通り ●

パブレストラン  
**カンローゼ** 中央店

春日通り丸忠ビル・プレイボーイショップ2F  
TEL0552(35)4917



レコード・ステレオの本格的専門店

# フタバエコー

- 三和タクシー前の北口店 (TEL)51-3534
- 伊勢2丁目バス停前の伊勢店 (TEL)32-2786

## 入院 応 需

# 橘 田 耳 鼻 咽 喉 科

院長 橘 田 豊 雄

甲府市中央二丁目12の28 TEL (37) 3387~8

新メニュー ご案内 海の幸・貝料理



※ スープ、帆立貝、アワビ、グラタン  
エビフライミックス、サラダ、ライス、コーヒー

¥ 1,800

※ 昼食定食好評です。

※ 営業時間 11:30 ~ 9:00

休 日 毎 週 月 曜 日

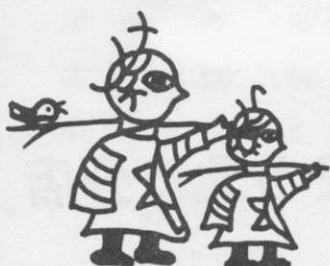
## cavalier

Restau  
rant **カバリエ**

山梨県甲府市中央一丁目6-6 丸忠ビル二階  
TEL (0552) 35-5151



味の店 中華料理



一番

美咲2丁目バス停前  
TEL(52)2816

寝具製造 貸布団

大関わた有限公司

甲府市城東三丁目16-16  
TEL (35) 6288代

寿司・割烹



洋食・喫茶

ビジネス  
レストラン **コンソリ**

丸の内一丁目 電話 33-3135  
32-1904

木馬

コンパの御用命は

良心的な

かどや へどうぞ

甲府裁判所東  
TEL 35-3351(代)

こまやかな香り

まろやかな味

横河電気甲府工場食堂  
県立中央病院内レストラン白十字  
本店 岡島前 白十字

甲府市中央1-2-12

白十字

phone 33-4580

許山胃腸病院

甲府市中央一丁目12-6  
TEL 33-5107(代)

証券貯蓄のご相談は

日興証券

甲府支店

甲府市丸の内2の29の6  
TEL 0552 (28) 8511 (代)

寿司

魚そう北口分店

朝日一丁目 (52) 3566

かしわ料理

鳥真支店

TEL (52) 7741

電子式卓上計算機・電子リコピー  
スチール家具・事務用品

有限会社 三機堂

甲府市朝日五丁目12-6  
TEL (0552) 53-0211 (代)

外科・整形外科・胃腸科  
レントゲン科・肛門科

やもと 本 外 科  
箭 本 外 科

院長 箭 本 巖

甲府市北口三丁目1-1 (YBSの東)

TEL (53) 3532~3

寿司と御食事の店

伊津美

御会合・無尽会 等御座敷を御利用下さい

朝日通り TEL (52) 5442

甲府市朝日通り

古屋眼科医院

古屋コンタクトレンズ研究所

TEL (52) 3305

内料理  
うやまぎ 平 聖 屋 齋

甲府市朝日二丁目・電(52)5656  
(52)0945



